

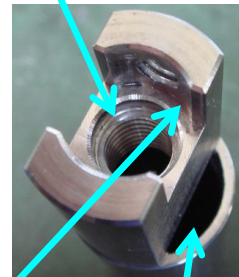
止水機構付 EF サドル S2A 型 25 不断水穿孔機ホルソー着脱手順書

① ホルソー取付け手順

ホルソーを保護ケースから取出し、
接続ねじ部に異常がない事を確認
する。

ねじ部の異物、変形に特に注意。

1. ホルソーに付いているビスを十分に
緩めて下さい。

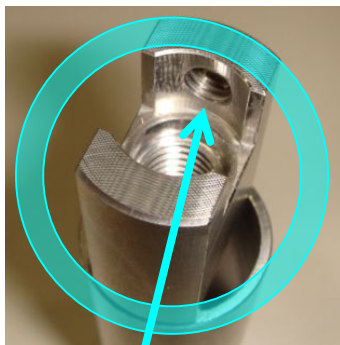
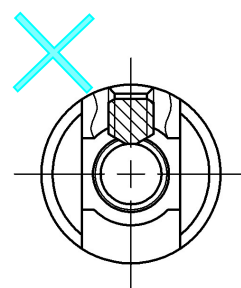
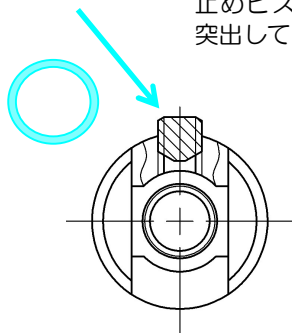
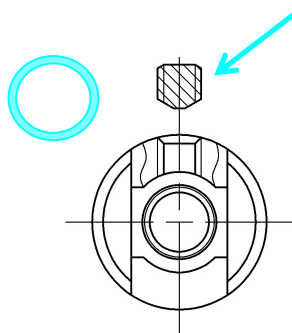


ホルソーとビスのユニットコード：UW4802(呼び径 25)

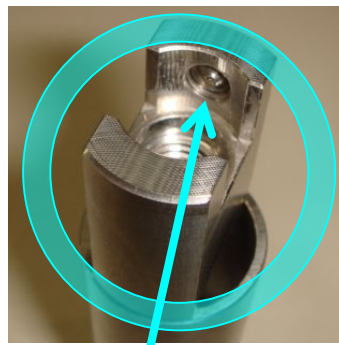
- ① 止めビスを十分に緩める。

止めビス先端部がこの面より
突出していない事！！

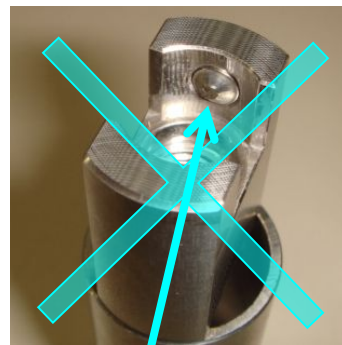
押し棒貫通穴



止めビスが外してある。
(ビス紛失に注意)



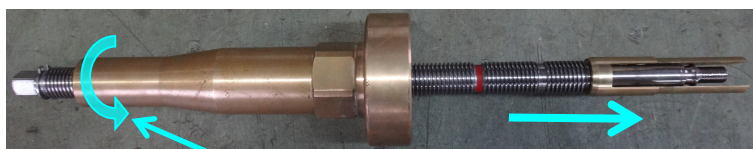
止めビスが付いているが、先端
が内面側に突出していない。



止めビスが付いており、先端
が内面側に突出している。

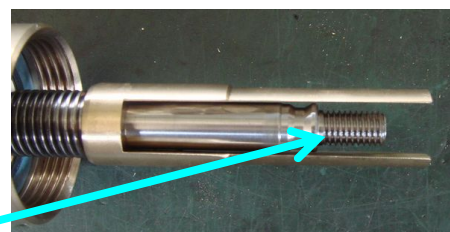
⚠ 止めビス先端部が内面側に突出していると、ホルソーが所定の位置までねじ込まれずシャフトやホルソーのねじ等を破損する原因になりますので注意して下さい。

2. シャフトを時計方向に回転させて、ホルソー接続ねじ部および押し棒部をスタンドから突出させ、ホルソー接続ねじ部および押し棒に変形等の異常がない事を確認する。



②

ねじ部への異物付着、変形に特に注意して下さい。



3. 押し棒をホルソー接続ねじ側へ
2~3cmスライドさせる。
(ホルソーを接続し易くするため。)

押し棒

③

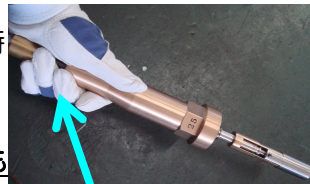


4. ホルソーの押し棒貫通穴へ押し棒の先端を差込みながら、ホルソーをシャフトの接続ねじへ当るまで挿入する。



5. シャフトのハンドル接続側を手などで保持して固定し、ホルソーを接続方向へ回転させてねじ込む。

- ホルソーを回転させた際は、押し棒も一緒に回転するので注意して下さい。

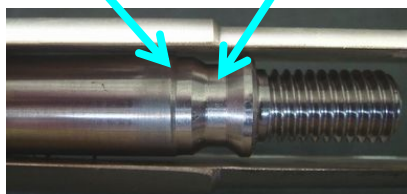


ハンドル接続側を保持してシャフトを固定する。



ホルソーを図示方向へ回転させ、下記位置までねじ込む

ホルソー接続位置目安 止めビス固定溝



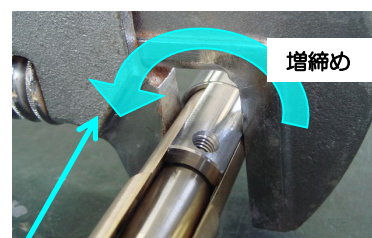
左図のホルソー接続位置目安線までホルソーの端面が位置するまで確実にねじ込んで下さい。



6. ハンドルを接続してシャフトを固定し、ホルソーのレンチ掛け部（右図参照）にモータレンチ等の工具を掛けてホルソーをシャフトに増し締めし、確実に取付ける。



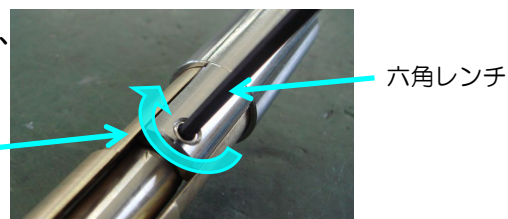
ハンドルを取付けてシャフトを固定する。



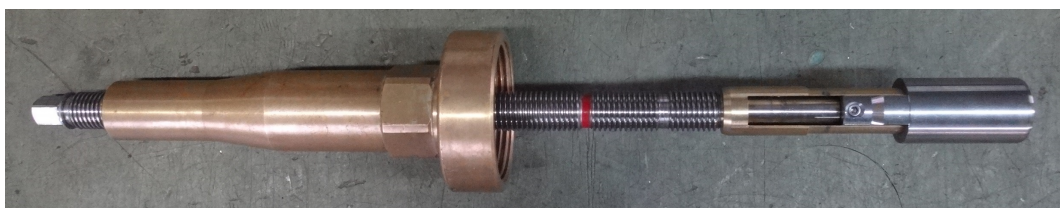
モータレンチ等の工具で増し締めする。

7. 止めビス（六角穴付き止めねじ）をホルソーに取り付け、六角レンチで固定し、ホルソー取付け完了。

⑦
六角ビス取付け



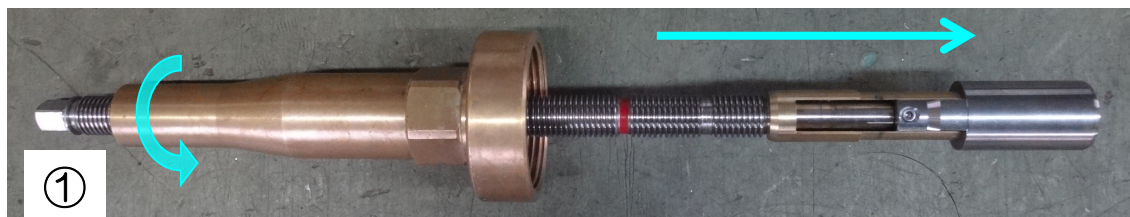
六角レンチ



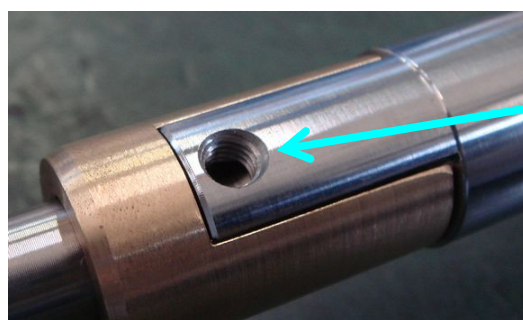
ホルソー取付け完了

② ホルソー取外し手順

1. シャフトを時計方向に回転させて、ホルソー部をスタンドから突出させる。



2. ホルソー部の固定ビスを反時計回りに回転させ、ホルソーから取外す。

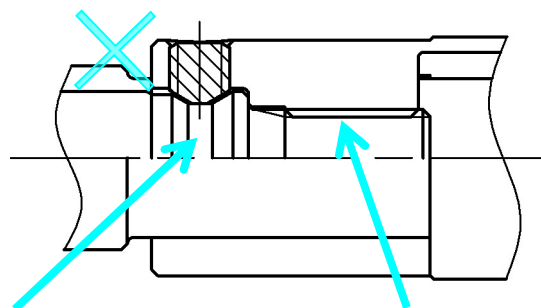
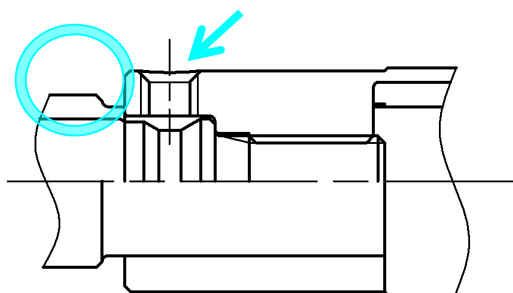


ビスを完全に
取外す。

止めビスを必ず取外して下さい。

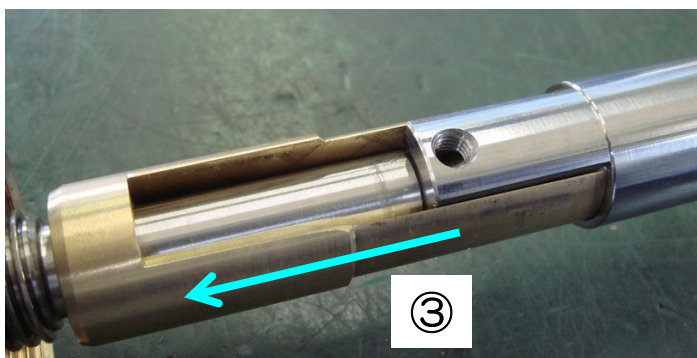


止めビスを外さずにホルソーを取外そうとすると、
下記シャフト部等を破損しますので注意して下さい。



止めビス固定溝破損の恐れ ホルソー接続ねじ部破損の恐れ

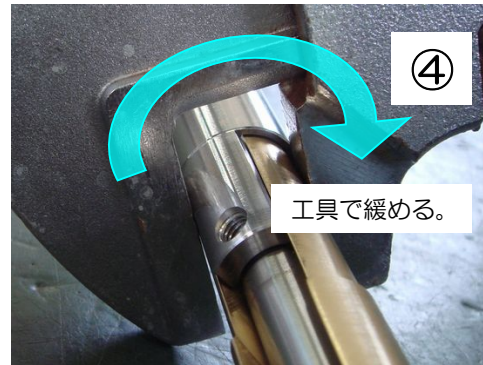
3. 押出し棒を下記方向へスライドさせ、レンチを掛けられる様にする。



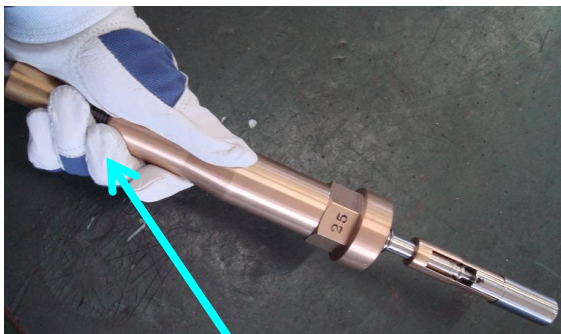
4. ハンドルを取付けてシャフトを固定し、ホルソーのレンチ掛け部にモータレンチ等を掛けて図示方向へ回転させ、接続ねじを緩める。



ハンドルを取付けてシャフトを固定する。



5. シャフトのハンドル接続側を手などで保持して固定しホルソーを図示方向へ回転させて取外す。



ハンドル接続側を保持してシャフトを固定する。



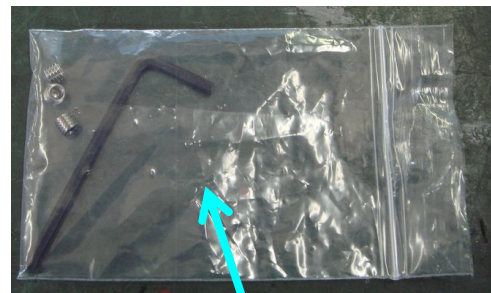
6. ねじ山から完全に外れたらホルソーを引抜く。



7. ホルソーを保護ケースに、止めビスと六角レンチを付属のビニール袋へ入れ、取外し終了。



保護ケース



ビニール袋



前澤給装工業株式会社

※当手順書は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

W1040
2022 年 10 月改訂